

## 令和元年度第4回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和元年 7月12日(金) 午後4時00分～午後5時15分
2. 会場 教育委員会 教育長室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志  
代理 五十嵐 紀 子 朝日地区スポーツ統括監 長 南 広 基  
委員 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章  
委員 加 藤 洋 之 学校教育課事務管理監 大 留 義 幸  
社会教育課長 武 山 鉄 也
- (欠席 委員 千 田 秀 昭)

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

夏らしい天候になってきたが、春先から少雨が続けている。先日は大きな雷が発生し、学校も対応に追われた。雷の際の対応方法について考えておく必要がある。明日は雨の予報だが、士別ディスタンス・ディスタンスチャレンジともに参加者が増加する予定。良い天気になってもらいたい。中体連では子どもたちの頑張りが発揮され、管内大会の陸上競技では4×100メートルリレーで優勝するなどの活躍があった。中体連の地区大会は開催方式が変更されたが、引続き課題があると感じている。4月の会議の際に「働き方改革推進プラン」について協議いただいたが、今日は「学校の部活動に関するガイドライン」が議題となっているので、後ほどご意見を伺いたい。6月下旬に、上川教育局の義務教育指導監が各学校を訪問され、授業などを視察するとともに、学校経営や働き方改革の推進などについての助言・指導をいただいた。皆さんが学校を訪問した際にも様々な感想をもたれていると思うので、機会を見てご意見をいただきたい。今後、ハーフマラソン大会のほか、クラレカップ、コンバインド、ジュニアなどのジャンプ大会が控えている。特に士別ハーフマラソンではMGCファイナリストが世界を目指し活躍する姿を見ることができる。学校では、24日に終業式を迎え夏休みに入る。学校としての1学期の検証を行い、子どもたちには良い夏休みを迎えてもらいたい。令和2年度から使用する教科書の選定作業に取り掛かっており、8月中に決定する。事務事業の点検・評価は第3回定例会に提案予定。これらについて来月の教育委員会会議で審議いただくが、場合によっては会議を2回開催することになる。本日の会議もよろしく願います。

#### 1 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第7号 士別市適応指導教室設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則について説明を求める。

##### ○須藤課長

これまでは適応指導教室に「入所」という表現を用いていたが、児童・生徒はあくまで学校に在籍しており「通室」が適当であると判断し、文言を修正するもの。

##### ○中峰教育長

説明にあったとおり、子どもたちは学校に在籍しており、ウィズには通室するのであって、学校での生活を送るようにしていくことが基本。4月に開催した教育推進会議でも、先生たちができるだけウィズに行き、子どもたちの様子を見てもらいたいとお願いしたところ。

※ 議案第7号 了承

○中峰教育長

議案第8号 士別市立中学校生徒対外行事参加奨励費支給要綱の一部を改正する要綱について説明を求める。

○須藤課長

この改正は、要綱内の誤字の修正と、関連する様式の表題を要綱の名称に合わせ、わかりやすくしたもの。

○中峰教育長

学校の部活動に対する助成は、合宿の里・スポーツ推進課で所管している制度も含めると3つある。全体的な支援のあり方を検討し、今後、根本的に変更することも考えたい。

※ 議案第8号 了承

○中峰教育長

議案第9号 士別市学社融合推進委員会実施要綱の廃止について説明を求める。

○武山課長

学社融合という言葉は聞きなれないかもしれないが、学校教育と社会教育を融合するということ。委員会の内容としては社会教育の情報提供を行っていた。学校運営協議会の活動充実に伴い、推進委員会の役割が移行していくことになる。

○五十嵐代理

学校運営協議会は、地域によって関わりが密なところと、そうではないところがある。学校によって差が出るのはどうか。

○中峰教育長

学校や地域によって歴史的経過も違う。それぞれに違いがあって良いと考える。春に開催した事務局校会議は、他地区の取り組みが分かる良い機会だったので、引き続き開催したい。

○五十嵐代理

自分たちの満足だけで終わらないように、他の取り組みを見て情報共有してほしい。

○中峰教育長

一方で、士別市として共通の目標や考え方を見える化し、意思統一を図っていくことも必要。

○武山課長

2年生のレクリエーションとして「缶バッジ作り」の指導に行った際、先生から「教委が学校に来て指導してくれる自治体は他にはない」との話をいただいた。

○加藤委員

学校で「マチコミメール」の運用をはじめており、体力テストを手伝うボランティアの募集にも使われている。学校からの発信は、いい動きだと思う。

○五十嵐代理

いろんな人が意見を言える風通しの良さが必要。

○加藤委員

上手にツールを使えば、学校と地域との距離が縮まる。コミュニティスクールは、元々学校に関わりがあった人が多くいる印象。そこから広がりが生まれると良い。

○中峰教育長

土曜子ども文化村など、体験を提供するプログラムは民間の方の力を借りて進めているものもある。  
学社という体制では一区切りとする。

※ 議案第9号 了承

○中峰教育長

議案第10号 士別市立学校の部活動に関するガイドライン(案)について説明を求める。

○鴻野部長

国・道の方針を受け、士別市のガイドラインを作成した。部活動ということで、中学・高校で適用する。働き方改革の視点から休養日を設定している。拠点校方式については中体連への働きかけが課題。

○五十嵐代理

部活動の顧問に対し周知するという事か。

○鴻野部長

保護者に対しても周知し、各学校でも方針を定めてもらう。

○中峰教育長

体育協会など関係団体にも理解していただく必要がある。市のホームページでも公表していく。なお、これが最終形ということではない。必要に応じて適宜見直し、検討していきたい。

○五十嵐代理

女子の活動について、きちんと書いているのは良い。

※ 議案第10号 了承

## 2 その他について

(1) 当面する今後の日程について

鴻野部長説明。

午後5時15分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章